

第1号議案 事業報告ならびに会計報告

公益社団法人日本ビリヤード協会関東支部 令和2年度事業報告

※ 新型コロナウイルス感染が全国的に拡大している状況です。大会の延期・中止等が既に多数出ていて、かなりきびしい状況となりました。また通年の決算報告ができていない点ここにおわびいたします

1 競技

マスクの着用を禁止しておりましたが、新型コロナウイルスの蔓延にともない禁止から着用義務のほうに変更いたしました。

毎年行われる 全日本スリークッション選手権大会をはじめ国内外多くの試合が中止においこまれております。緊急事態解除後に一部再開いたしましたが第2波の影響もあり再度の延期中止。

秋に再度再開いたしましたが2回目の緊急事態宣言発令によりまた延期中止においこまれました。

また参加人数が多数みこまれるポケット種目に関しては全面的に延期中止となりました

2 組織

過去10年以上にわたり、活性化した組織運営ができておりませんでした。今後の反省にしたいとおもいます。また日本ビリヤード協会加盟団体として 本部のあるべき姿や 早期の財務状況の公開など本部業務遂行に関する提言なども行うことがむずかしい状態でありました。

3 財政規律

柱である 大会開催がほぼ行われず、またプレーヤー登録費の免除などでかなり厳しい状況となりました。またトーナメントひとつ行うにも賛成反対さまざまなお意見をいただきおもうような運営がいまひとつうまくいかず、これが収支状況を悪くしました
通年支払われている加盟団体会費に関しては本部よりコロナウイルス対策費として全額免除を受けました。これに関しては厳しい環境の中、大変感謝しております。

令和2年 日本ビリヤード協会関東支部 収支決算書				令和3年3月31日現在			
収入の部	金額	備考	支出の部	金額	備考		
会費収入	782,000		事業費	847,500			
入会金収入	20,000	2件	大会開催事業費	277,200	段位戦メダル		
				213,210	段位戦トーナメント経費		
正会員会費収入	762,000	加盟店年会費		354,090	未収入加盟店会費 寄設会場費用(成増)		
			段級位認定事業費	3,000	段位書を換え料		
大会開催収入	790,000		管理費	365,071			
関東地区大会収入(1)	790,000	段位戦ほかトーナメント	支部分担金	0	コロナ対策により加盟料免除 ※通常500000		
			職員人件費	300,000	職員1名6か月分※コロナにより1/2分		
補助金収入	252,000		雑費	65,071	郵送料事務用品コピーなど		
プレーヤー登録還付補助金	252,000	CSカード本年度360名※1	協力金	172000			
			普及事業振興協力金	150,000	年間協力金		
			大会協力金	22,000	全日本女子3C公認料記載料など		
未収入金	750,090		未払金	722,328			
			事務所経費	360,000	事務所使用料300000×12か月		
	354,090	寄設会場費用(成増) キャンセル戻し金	大会関係事業費	102,328	ホームページ保守 コピー 消耗品 通信費など		
	396,000	令和2年まで加盟店会費	年会費	10,000	公社)日本ビリヤード協会年会費仮受付金※2		
	80,000	公社日本ビリヤード協会庶務会議員負担	段級位認定事業費	250,000	段級位公社)日本ビリヤード協会支払い分※3		
収入合計	2,178,090		支出計	2,106,899			
前期繰り越し	2,334,780	令和元年度までの繰越金	今期収支差額	71,191			
合計	4,512,870		次期繰越収支差額	2,405,971			

※1 CSカードの補助金は1名あたり700円※2 中部正会員会費1名誤入金分※3 昇段認定料

第2号議案 役員 改選

理事

森 陽一郎 J P B F (日本プロビリヤード連盟)

石井 宏 ビリヤード場経営

吉川 和良 carrom seminar 事務局

甲斐 譲二 J P B F (日本プロビリヤード連盟)

町田 正 J P B F (日本プロビリヤード連盟)

小嶋 正史 J P B F (日本プロビリヤード連盟)

中島 祐一郎 ビリヤード場経営

峰 大祐 ビリヤード場経営

監事

平野 功材 株)クラシックプロダクツ (メーカー)

第3号議案 事業計画

公益社団法人日本ビリヤード協会関東支部 令和3年度事業計画

※ 新型コロナウイルス感染が全国的に拡大している状況です。大会の延期・中止等が既に多数出ていて、今後の見通しが不明瞭です。

この状況が長期化した場合の財政危機を乗り切らなければなりません。ピークを過ぎ、ワクチンが普及すれば収束に向かうと思われそうですが終焉かどうかはわかりません。いずれにせよ大幅な減収は避けられないことを覚悟しなければなりません

1 競技

必須要件となる各種ガイドライン類の整備及びその運用に取り組んでいます。

今後も既存規程の見直し修正の提言などを行いつつ、トーナメントの実施に取り組めます

また今まで疎遠でありました J A P A（日本アマチュアポケットビリヤード連盟）関東支部との連携もはかりまた他団体との連携もはかり、すべての競技が円滑に運営できるよう努力します

2 組織

確かな組織を目指します。各加盟団体との連携強化を図る為の具体的な施策を検討して参ります。解決すべき難題を一つ一つ、整理していかなくてはなりません。

具体的には 正会員リストの整理 他支部との窓口の構築

新規正会員（加盟店）獲得など 山積しております

3 普及事業・普及活動全般

現役世代 ジュニア世代への普及活動強化も今後のビリヤードの維持と発展の礎として重要であることは、言うまでもありません。インターネットなどを用いた周知活動などで

当支部が 先頭にたって活動し 周辺からやはり関東はしっかりしていると敬意を表されるような団体を目指します

4 財政規律

厳しい財政状況の中 透明性をもって 活動内容や財務内容を 逐次 整理発信して 協会全体に対する 不信感を 極力払拭するように 努力いたします

5 加盟先団体に関する提言

日本ビリヤード協会加盟団体として 本部のあるべき姿や 早期の財務状況の公開など 本部業務遂行に関する提言を逐次おこないます

令和3年4月22日